



国際シンポジウム

International Study of Historical Paper Materials: New Perspectives for Studies of Historical Materials

料紙研究 × 自然科学

定員
120名

申込
不要

先着順

古文書研究 の新展開

2019 **11.23** (土) (祝) 10:30 ~ 16:30

会場

東京大学本郷キャンパス
山上会館 大会議室



東京大学
THE UNIVERSITY OF TOKYO

料紙研究

古文書研究

自然科学

の 新展開

2019 11.23 (土) 祝

10:30 ~ 16:30

先着順

申込
不要

定員
120名

お問い合わせ

渋谷綾子 (東京大学総合研究博物館)

Email: sympo-washi2019@hi.u-tokyo.ac.jp



東京大学
THE UNIVERSITY OF TOKYO



開催趣旨

科学研究費補助金基盤研究(A)「『国際古文書料紙学』の確立」では、料紙研究情報の国際標準化を通じて、歴史学の情報をもっと豊かにするとともに、国際的な歴史資料研究の基盤となるしくみを作り上げることを目指しています。本シンポジウムでは、日本と台湾、そして東アジアにおける古文書や古記録など紙媒体歴史資料の自然科学研究について紹介します。

プログラム

- 10:00 開場・受付
- 10:30 挨拶・趣旨説明 渋谷綾子 (東京大学総合研究博物館)
総司会 天野真志 (国立歴史民俗博物館)
- 10:55 <講演1> 湯山賢一 (神奈川県立金沢文庫)
日本における古文書料紙の変遷
- 11:45 昼食・休憩
- 13:00 <講演2> 鍾國芳 Kuo-Fang Chung (台湾・中央研究院生物多様性研究中心)
How paper mulberry DNA tells stories of Austronesian migration and paper invention
(逐次通訳付き)
- 14:00 <報告1> 石川隆二 (弘前大学農学生命科学部)
カジノキの遺伝的多様性は古文書の由来を説き明かせるか
- 14:30 <報告2> 高島晶彦 (東京大学史料編纂所)
デジタル機器を利用した楮繊維の分析
- 15:00 休憩
- 15:10 パネルディスカッション
登壇者: 湯山、鍾、石川、高島、渋谷 (モデレーター)
- 16:10 全体コメント 小倉慈司 (国立歴史民俗博物館)
- 16:20 閉会

主催

科学研究費補助金基盤研究 (A)
「『国際古文書料紙学』の確立」(No. 19H00549)

共催

東京大学史料編纂所、国立歴史民俗博物館、科学研究費補助金挑戦的研究 (萌芽)
「前近代の和紙の混入物分析にもとづく『古文書科学』の可能性探索」(No. 18K18534)、東京大学史料編纂所2019年度一般共同研究「前近代の和紙の構成物分析にもとづく古文書の起源地追跡」・「松尾大社所蔵史料の調査・研究」・「多可町杉原紙研究所所蔵寿岳文章和紙コレクション料紙調査研究」

後援

日本植生史学会、日本古文書学会